



建設産業における

女性の就業継続にむけた

キャリアパス・ロールモデル集

# はじめに

建設産業では、誰もが就業しやすい産業となることを目指し、職場や建設現場の環境改善に向けて取組みを進めています。

令和2年1月16日には、建設業5団体<sup>\*1</sup>、建設産業女性活躍推進ネットワーク<sup>\*2</sup>及び国土交通省により「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画 ～働きつづけられる建設産業を目指して～Plan for Diverse Construction Industry where no one is left behind」(以下、行動計画)が官民をあげて策定され、建設産業における女性の活躍・定着に向けた機運は高まりつつあります。

本行動計画では、「働きつづけられるための環境整備を進める」、「女性に選ばれる建設産業を目指す」、「建設産業で働く女性を応援する取組を全国に根付かせる」の3本の柱で構成され、建設産業で働くすべての女性が「働きがい」と「働きやすさ」を実感できる産業を目指し、柱の趣旨を達成するための目標を掲げています。

本事例集は、行動計画の趣旨に基づき、将来、建設産業に入職を考えている方や、周囲に相談相手がおらず就業の継続に悩む方が、自身の今後の働き方やキャリアアップの道筋をイメージでき、将来への不安や悩みを解消するためのヒントを見つけられるような事例集を目指し、制作いたしました。9名のロールモデルがこれまでどのような経験を積んできたのかをキャリアパスとして示すほか、仕事とプライベートの両立方法についても掲載しております。

本事例集が全国各地で孤軍奮闘される皆さまに届き、現在抱えている将来への不安や悩みが解消されるきっかけとなり、誰もが生き生きと自分らしく働き続けられる産業になるための一助となることを願います。

※1 建設業5団体：(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)建設産業専門団体連合会、(一社)全国建設産業団体連合会の5団体を指す。

※2 建設産業女性活躍推進ネットワーク：現在の建設産業女性定着支援ネットワーク。各地において女性活躍や定着に取り組む団体で構成されるネットワーク。



# 目次

技能者

技術者

事務職

様々な職種の方にこれまでのご経験を伺いました

CASE  
01

大工

ししど ゆかり  
**穴戸 由香里 氏**  
サトウ工務店

「できることが増えるのが楽しい」  
家族や親方に支えられ、知識や技能が豊富な  
大工を目指す

... 4

CASE  
02

土木

あびこりほ  
**安孫子 里穂 氏**  
株式会社新井組  
(東京支店)

「現場代理人として活躍したい!」  
資格があれば男女関係なく認められる業界

... 6

CASE  
03

防水

くわはら なおこ  
**桑原 菜緒子 氏**  
くわはらけんざい  
桑原建材株式会社

「現場で大切なのは、自分を知ってもらい  
相手を知ること」  
現場代理人として家業を支える

... 8

CASE  
04

土木

しまだ くみこ  
**島田 久美子 氏**  
ケミカルグラウト株式会社

「現場の楽しさは、様々な職種や年代の  
方とのコミュニケーション」  
数々の現場を経験し、登録基幹技能者にも認定

... 10

CASE  
05

建築  
(設計)

ねもと  
**根本 かおり 氏**  
有限会社ゼムケンサービス

「もう一度、設計の仕事に就きたい!」  
子育てとの両立を図り、建築のオールラウンダーに

... 12

CASE  
06

土木

はぎわら しのぶ  
**萩原 忍 氏**  
かづけんせつ  
桂建設株式会社

「地元で現場監督になりたい!」  
結婚や出産を経ても現場で活躍!

... 14

CASE  
07

防水

はりかわ ゆうこ  
**針川 優子 氏**  
株式会社マサル

「今後、女性の活躍の場はさらに広がって  
いくはず」  
社内の職場環境も年々変化!  
柔軟な働き方で育児と両立

... 16

CASE  
08

溶接  
(設計)

かいりさ  
**甲斐 理沙 氏**  
にってつ  
日鉄テックスエンジ株式会社  
(大分支店)

「周囲のサポートがあってこそ育児と  
仕事の両立ができる」  
職場は子育て世代の社員が多く、育児との両立を  
助け合う社内風土

... 18

CASE  
09

造園

すぎさわ ゆきこ  
**杉澤 悠紀子 氏**  
たたらぞうえん  
株式会社多々良造園

「地元で植物と関われる仕事がしたい」  
夫が育児休暇を取得!  
夫や職場のサポートで就業継続

... 20

CASE

01

# 「できることが増えるのが楽しい」

家族や親方に支えられ、知識や技能が豊富な大工を目指す

Check!

POINT

- 親方との出会いを機に地元から引っ越し、業界未経験から大工に転身。
- シングルマザーとして仕事と家庭の両立に奮闘。

穴戸 由香里氏

サトウ工務店  
技能者（大工）



## PROFILE

### 自身のプロフィール概要

- ①職種：技能者（大工）
- ②出身地：福島県
- ③学歴：高卒
- ④職歴：8年
- ⑤経歴：高校卒業後、地元で飲食業や接客業を経験し、派遣社員として工場等で勤務後、現職。

### 所属企業の会社概要

- ・会社名……サトウ工務店
- ・事業概要……マンションやアパート、民家、教会等の特殊建築物の修繕や新築工事
- ・所在地……埼玉県所沢市
- ・従業員数……2人  
(うち女性1人)

### 入職した理由、経緯

親方に誘われたことが入社のかっけです。

福島県から埼玉県へ引っ越しした当時、子育てのため就業時間や条件が限定されるなかで就職活動をしていましたが、上手いかずに悩んでいました。

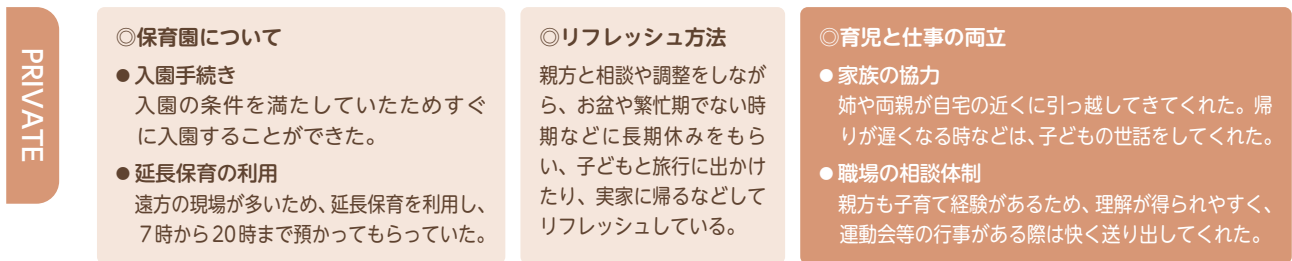
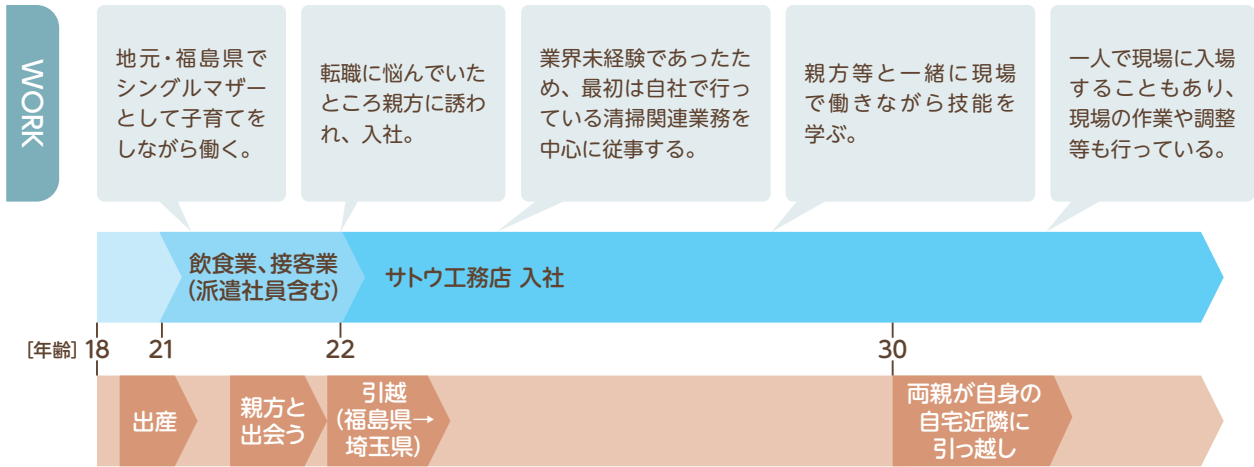
そういった中、以前から知り合いだった親方から、当社に所属していた職人が独立するタイミングと重なったこともあり「うちで仕事を手伝ってみるか？」とお誘いいただきました。

業界未経験で不安もありましたが、親方の育児等に関する理解や自身がやってみたいという気持ちから、当社に入り、今も日々勉強しながら精進しています。

### 自身の現在の仕事内容、やりがい

入社したての頃は、自社で扱っているハウスクリーニングから始め、その後、親方に同行して現場での作業を経験しました。現在は、一人で現場に向かうこともあり、マンションやアパートのリフォーム、新築工事に携わっています。大工の仕事は建築物や現場によって工法が異なり、柔軟な対応するには豊富な知識や経験が不可欠です。加えて当社では、幅広い種類の建築に携わるため、より多くのことを覚えなければいけません。そのため、現場においてできることや分かることが増えたときに仕事の楽しさややりがいを感じます。また、携わった現場に修繕作業で再び行く機会もあるのですが、綺麗に使ってくれていると嬉しく思います。

## これまでのキャリアパス



## Q&A

### Q 苦労したこと

**A** はじめは、道具の名前や単位などの建築に関する知識がないため、親方の指示内容を理解するのに苦労した。現場で学びたいことや教わりたいことがたくさんあるが、教わりながら経験を積むと想像以上に時間を要する。納期を考慮すると、経験を積みながら新しい技能を学ぶ場は限られる。

### Q 大工のイメージ

**A** 世間が抱えている「大工」のイメージと実情は異なる。作業着もおしゃれになっていたり、緻密な計算を行うことが多く、想像以上に頭を使う仕事だと思う。

### Q 家族の協力体制

**A** 家族の協力体制は不可欠だと感じる。姉が近くにおり、とても助けられた。福島にいた両親も近くに引っ越してきたことや子どもも中学生になることから仕事に集中できる環境が整った。

### Q 現場の環境整備

**A** 現場の規模の関係上、設置するスペースがなく、お手洗いができない場合も多い。設置されていても男女共用で汚れており、使いたいとは思えないこともある。トイレトペーパーや手洗い用石鹸、芳香剤等を自主的に用意し、清掃を行った現場もある。

### Q 職場の子育てに対する理解

**A** 都内等の遠方の現場では、延長保育を利用しても入り時間に間に合わないことが多く、親方が現場と入り時間を調整してくれた。

### Q 今後の目標

**A** 現場では「段取り」がとても重要であるため、親方から知識や技能とともに段取りも学んでいきたい。また、ゆくゆくは独立を考えているため、経営に関する勉強やSNSを活用して人脈も広げていきたい。

## Message!



### 建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

建築に興味がある方は、一度チャレンジしてみてください。想像以上に大変なこともあるかとは思いますが、どんどん楽しくなると思いますよ。女性も男性も関係なく平等に働ける建築業界を、一緒に作っていきましょう。現場で見かけたら、是非話しかけてくださいね！

CASE

02

# 「現場代理人として活躍したい！」

資格があれば男女関係なく認められる業界

Check!

POINT

- 異業種から地元の復興に携われる土木の世界へ。
- 資格取得で更なるキャリアアップを目指す。

## 安孫子 里穂氏

株式会社新井組（東京支店）  
技術者（土木）



## PROFILE

### 自身のプロフィール概要

- ①職種：技術者（土木）
- ②出身地：山形県
- ③学歴：大卒
- ④職歴：3年
- ⑤経歴：林業、異業界の営業職を経て現在の会社に就職

### 所属企業の会社概要

- ・会社名……株式会社新井組
- ・事業概要……総合建設業
- ・所在地……兵庫県西宮市
- ・従業員数……328人  
(うち女性40人)



### 入職した理由、前職の経験等

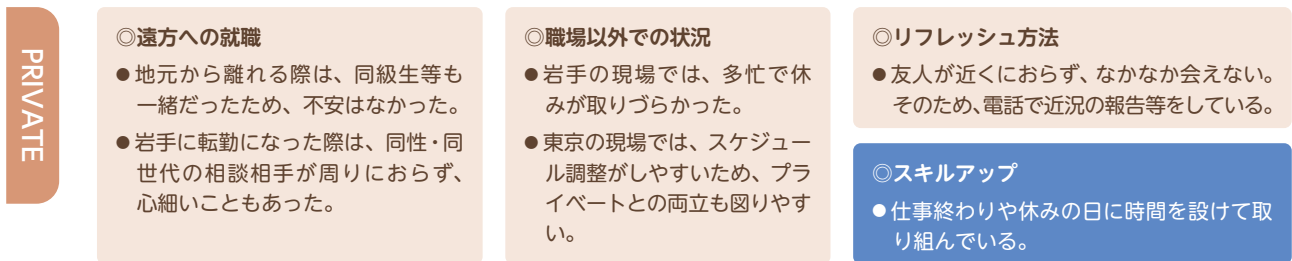
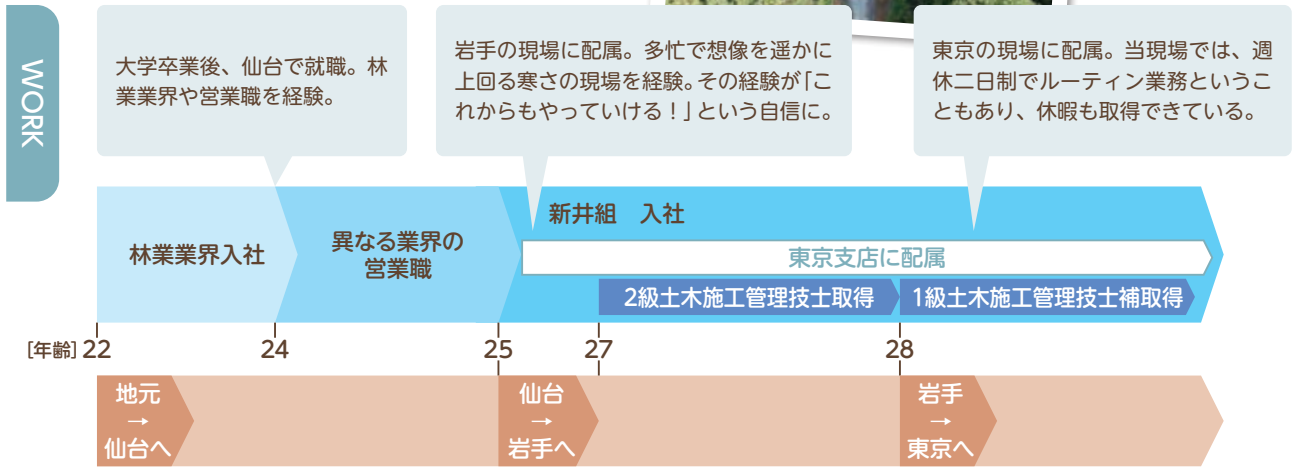
大学卒業後は仙台にある森林組合に入社し、その後、人と話すことが好きだったため異業界の営業職に転職しました。どちらの仕事も楽しかったのですが、ものづくりやインフラ整備に携わってみたいという思いが強くなり、転職を決意しました。リクルートサイトを調べていくうちに当社と出会い、インフラ整備だけでなく東日本大震災の復興事業にも携われることに魅力を感じ、入社しました。

### 自身の現在の仕事内容、やりがい

入社当初は、東北復興事業に携わっており、冬の寒さが厳しいだけでなく休みもなかなか取れない状況でしたが、地元である東北の復興事業に携われるというやりがいを持って業務に従事できました。

現在は東京の現場に配属され、東京外環自動車道の土砂運搬工事で施工管理を行っています。前の業務と異なり、ルーティン業務が多いため、時間のコントロールがしやすく働きやすいと感じます。そのため、現場の状況のみで資格取得に向けた勉強時間を確保し、取得することができています。「将来は、現場代理人として働きたい」という思いがあるため、会社の資格取得支援制度を活用しながら積極的に資格取得に取り組み、ステップアップしていきたいです。

## これまでのキャリアパス



## Q&A

### Q 現場の環境整備

**A** 地域や現場の規模によって違いはあると思うが、環境整備は進んでいると感じる。特に、関東地方の現場は週休二日制の導入など、働き方改革が進んでいると実感。一方で、更衣室はなかなか設置されていないのが現状。男女共用トイレが設置されている現場には、ポスターを掲示する等、きれいに使ってもらえるよう周知している。

### Q 働くうえで男女差を感じること

**A** 男女差を感じたことはない。チームの一員として性別関係なくコミュニケーションをとれていると思う。また、建設業界は資格があれば男女関係なく認められ働ける業界だと考えている。

### Q 自社の異動や配属等について

**A** 現場が終わったタイミングや2年～3年で配属の現場が変わることがあり、工事の受注状況の影響（人数が必要等）によって変わることもある。

### Q 現場の女性就業者について

**A** 岩手の現場では、協力会社の職長で女性が1人いたが、東京の現場では自分のみであった。当社の女性土木技術者は東京支店2人、本社4人在籍している。

### Q 会社の取組み

**A**

- 手 当：実家への帰省時の交通費補助は、これまで既婚者のみが対象であったが、独身者でも月1回の交通費補助が受けられることになったため、地元に戻りやすくなった。
- 相談体制：風通しが良く話がしやすい環境。ある程度は配属先の希望も考慮してくれている。

### Q 今後の目標

**A** 1級土木施工管理技士を取得したい。当社では、合格後に講座の受講料補助があるため、こういった制度も活用していきたい。

## Message!



### 建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

建設業界は、体力はもちろんですが、経験や技術が必要な場合もあり、働いていく上で非常に苦労しました。実際のところまだまだ勉強中ですが、現場が形になっていく姿をみると非常にやりがいを感じることができる楽しい業界だと思います。また、最近はICT化により建設業界は日々進歩しており昔のような3K（きつい・汚い・危険）から脱出しつつあり、男女関係なく働きやすくなっていると感じます。もし興味があればぜひ一緒に日本のインフラを守りましょう。

CASE  
03

# 「現場で大切なのは、自分を知って もらい相手を知ること」

## 現場代理人として家業を支える



### POINT

- 前職で防水屋のいろはを学び、現在は現場代理人として家業に携わる。
- ゆくゆくは経営者となり、家業を継承したいという思いを持っている。

## 桑原 菜緒子氏

桑原建材株式会社  
技術者（防水）



## PROFILE



### 自身のプロフィール概要

- ①職種：技術者（防水）
- ②出身地：東京都
- ③学歴：大卒
- ④職歴：4年
- ⑤経歴：大学卒業後、防水関連の材料メーカーに入職。事務職や営業職を経験し現職。

### 所属企業の会社概要

- ・会社名……………桑原建材株式会社
- ・事業概要………防水工事
- ・所在地……………東京都千代田区
- ・従業員数………6人  
(うち女性2人)

### 入職した理由、前職の経験等

会社を営んでいる父から携わったことのある現場について教えてもらう等、幼い頃から建設業は身近な存在でした。大学は興味があった「食」に関することが学べる農学部に入学しましたが、キャンパス内で測量実習をする学生の姿をみて測量に興味を持ち、工学科に学部変更をしました。

大学卒業後は、すぐに父の会社に入社するつもりでしたが、「家業で働く前に外で学んで来い」という父の助言もあり、防水関連の材料メーカーに就職しました。

前職では、事務職や営業職を経験するなかで防水屋の一連の仕事の流れを学ばせていただいた後、父が経営する現在の会社に入社しました。

### 自身の現在の仕事内容、やりがい

現場代理人として、元請企業と下請企業の間立ち、現場の工程管理や人員配置等の調整を中心に行っています。また、作業前の打ち合わせでは、現場の工程や仕様、使用する材料の説明等を行っています。その時に、イメージ通りの仕事ができたときや関係者の要望等に答えることができた時にやりがいを感じます。

また、作業着で電車に乗車したり、街を歩いていると、周りの方から「かっこいいね」や「頑張ってるね」と声をかけていただくことも多く、大変励みになっています。



## これまでのキャリアパス

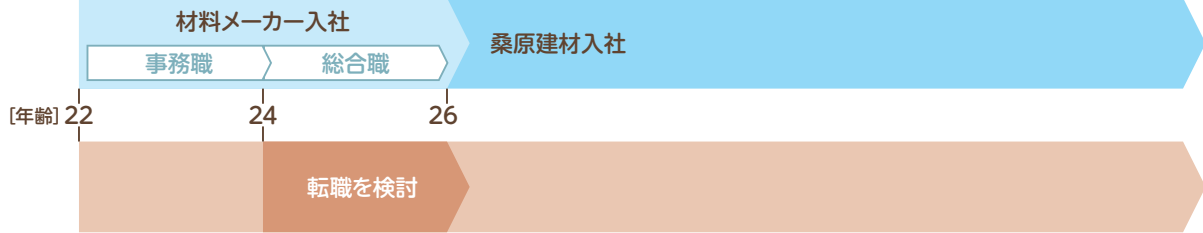
WORK

父の助言により事務職として外部の会社に入社。学生時代に学んでいたパソコンの知識を業務に活かした。

会社の配慮により転職先の父の会社でも経験を活かせるようにと、1か月ごとに様々な部署の先輩社員に同行して経験を積み、父の会社へ転職。

現場代理人として、各現場の全体管理(スケジュール管理や人員配置の調整等)を中心に業務に従事。

今後は、資格取得にも力を入れ、スキルアップを目指す。



PRIVATE

### ◎家業への転職

家庭の事情により、家業について改めて考えはじめたことがきっかけで、最終的に自らの意志で父の後を継ぐ決意をした。

### ◎家族と同じ会社で働くにあたり心掛けていること

- 仕事の時  
親子ではあるが、会社では社長と社員のため、職場とプライベートの関係性は切り分けて業務に励んでいる。
- プライベート  
家族とは同居している。  
自宅でも仕事のことを考えることもあるが、オンとオフをはっきりさせるため、プライベートの時は家族と仕事の話はしないように心掛けている。

### ◎休日の過ごし方等

- 食べることが好きなため料理をしたり、友人と一緒に食事に出かけることでリフレッシュしている。

## Q&A

### Q 現場でのコミュニケーション

**A** 仕事上、人と会話することが大切なため、現場の方々とは自発的なコミュニケーションを図っている。  
また、高校までは女子校で周りは女性だけだったが、大学では理系学科のため男性が多かった。大学時代に男性とのコミュニケーション能力を身につけることができ、今の仕事に活かされている。

### Q 家業で働いていて苦労したこと

**A** 自分では関係ないと思っていても、周囲からは「社長の娘」という目で見られてしまうこともある。社長である父や、会社の名に恥じぬよう、立ちふる舞うように常日頃から気を付けている。

### Q 業界の魅力

**A** 現場に出ていると様々な他職種の方と出会い、仲良くなれること。現在も連絡を取り合うこともある。

### Q 現場の環境整備等

**A** 規模によるかもしれないが、環境整備は進んでいないことが多いと感じる。現場には、お手洗いが無いこともあるため、周辺の公共施設のお手洗いを借りることもある。  
また、現場の女性は、他事業種では見かけることがあり、特に内装関連に女性が多いというイメージを持っている。

### Q 今後の会社の取組み

**A** 今後も、自身も含めた社員が、働き続けられるよう、自社としてどのような方法が最適なのかや採用・広報面をより強化できるよう検討していきたいと考えている。

### Q 今後の目標

**A** 将来的には、経営者になり、家業を継承していきたい。そのためには、まずは職人に認められるような存在になりたい。

## Message!



### 建設業への入職を考えている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

以前と比べて建設業に女性が活躍している割合は高くなっていると感じます。職種にもよりますが、私達女性は職人気質にこだわらず、柔軟な対応が現場に限らず行えると思っています。これから入職を考えている方々には不安もあるでしょうが、大きな達成感を与えられることも多々あるので勇気を持って一歩踏み出して下さい。

CASE  
**04**

# 「現場の楽しさは、様々な職種や年代の方とのコミュニケーション」

数々の現場を経験し、登録基幹技能者にも認定



POINT

- 大学院修了後、環境工事や地盤改良工事等の現場に長年携わる。
- これまでの経験や人脈を活かし、現在は営業部門の課長として従事。

## 島田 久美子氏

ケミカルグラウト株式会社  
技術者（土木）



## PROFILE

### 自身のプロフィール概要

- ①職種：技術者（土木）
- ②出身地：茨城県
- ③学歴：大学院 修了
- ④職歴：10年以上
- ⑤経歴：大学院修了後、現職

### 所属企業の会社概要

- ・会社名……………ケミカルグラウト株式会社
- ・事業概要……………地盤改良工事および安定処理工事、建設基礎工事等の調査、設計、施工、コンサルタント
- ・所在地……………東京都港区
- ・従業員数……………327人（うち女性57人）



### 入職した理由

普通科高校を卒業後、大学から大学院へと進学し、地盤工学研究室に所属し研究をしていました。就職活動時は、ゼネコンのように全体的に現場に関わるのではなく、関心のあった「土壌汚染」分野で密に現場に携わりたいという思いから、環境工事を行う当社に入社しました。社会人として働くことに対する漠然とした不安はありましたが、中高時代は運動部であったこともあり、体力的な面で現場に出ることへの不安はありませんでした。当社では、私が入社する数年前から女性の技術職を採用しており、現在も女性の技術職はほぼ毎年入社しています。

### 自身の仕事内容、やりがい

入社後すぐに念願であった環境工事に携わる部署に配属され、現場に出るだけでなく内勤で役所対応も経験しました。その後、地盤改良工事に携わる部署に異動となり、結果的に学生時代に学んでいたことも活かしながら現場に携わることができました。現場に長年携わり、現在は技術営業部に異動しました。これまでの人脈や経験等を活かしながら業務に励みたいと思います。

この仕事のやりがいは、携わった仕事が自分の心に残ることです。無事に工事が完了した際は、「やり遂げた」という達成感とともに現場での経験や思いが自分の記憶として心に残ります。また、お施主様や元請企業、協力会社の現場作業員等の方々とコミュニケーションを図りながら作業できることも魅力の一つです。

## これまでのキャリアパス



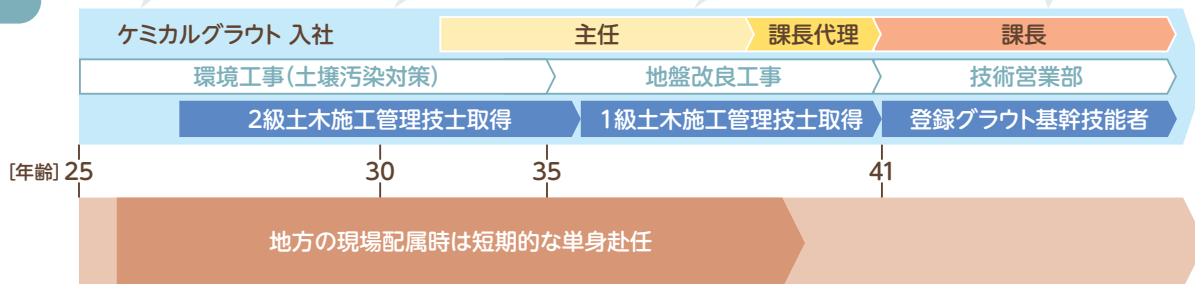
### WORK

入社後、すぐに現場に配属。所属は東京の本社だが現場は名古屋だったため、3か月ほど名古屋へ引越す。

お施主様や元請企業への説明に同行。同じ現場で年の近い先輩に指導してもらいながら業務に励む。

首都圏の現場だけでなく、岩手や富山等の地方の現場にも従事する。また、現場管理といった外勤だけでなく、時には内勤業務も兼務して対応していた。

技術営業部への異動と同時に課長に昇進。これまでの現場での経験も活かしながら働いている。



### PRIVATE

#### ◎地方の現場において

東京の本社所属でも、現場は地方の場合もあり、これまで愛知県、富山県、岩手県の現場に携わった。短期的な単身赴任のため、ウィークリーマンション等を活用していた。

#### ◎休日の過ごし方

地方の現場に配属された際は、観光やショッピング、時には自宅ゆっくりり体を休めるなどしてリフレッシュをしていた。

#### ◎同僚との交流

当社は、社員同士がとても仲が良く、飲み会やボウリング大会、日帰り温泉旅行などをしてきた。各々別の現場に配属されている社員同士の情報共有の場となった。

#### ◎資格取得

休日に当社で実施していた、講習会を受講。平日は業務に専念するため、資格取得に向けた勉強は休日に集中的に取り組んでいた。

※上記記載資格は主な取得済み資格。

## Q&A

### Q 苦労したこと

A 入社直後は、道具の名前や元請担当者・作業員の名前等、覚えなければならないことが多く、休憩時間の雑談においても話についていけないことがあり、悔しい思いをした。

### Q 現場の環境整備

A 公共工事の場合は、快適トイレの設置等進んでいると感じる。一方で土壌調査業務では、現場が動く前の段階のためお手洗いも未設置の場合が多く、近くの公共施設等を利用していた。

### Q 現場でのコミュニケーション

A 協会の作業員とは付き合いが長くなり、気さくに話せるようになった。様々な職種や幅広い年代の方々とコミュニケーションをとることができるのも現場で働くことの醍醐味だと感じる。

### Q 現場の地域差

A 皆、懸命に作業していることに地域差はないが、資材を手配した際の納期（スケジュール感）やご当地ルールのようなものもあり、地域差を感じた。また、雪国の現場では、作業が天候に左右されることを痛感した。

### Q 会社の取組み

A 当社では毎年新入社員を採用しているため、新入社員を早く現場で受け入れてくれるよう、会社側が呼び掛けてくれている。また、男女や内外勤務問わず育休の取得実績があり、社員が就業を継続するための取組みも進んできていると感じる。

### Q 今後の目標

A お客様や元請企業と話す際、これまでの経験のなかでしか語れない部分が多いと感じる。会社全体の業務を把握し知見を深め、信頼を得ていきたい。

## Message!



### 建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

建設業界は男性が現在も多い職場ですが、女性が受け入れられる準備は整いつつあると感じています。また、体力勝負なイメージを持たれがちですが、建設業界で働く方々が特別体力がある方ばかりではないですし、建設業界だけが特別辛い仕事だとも思いません。様々な個性を持った大勢の人が協力し、支え合いながら働くことができるのがこの業界の魅力です。

CASE  
05

# 「もう一度、設計の仕事に就きたい!」

子育てとの両立を図り、建築のオールラウンダーに



POINT

- 子育てが落ち着いたタイミングで設計の仕事に再チャレンジ。
- 会社と家庭の協力を得ながらワークライフバランスの両立を目指す。

## 根本 かわり氏

有限会社ゼムケンサービス  
技術者（建築／設計）



## PROFILE



### 自身のプロフィール概要

- ①職種：技術者（建築／設計）
- ②出身地：神奈川県
- ③学歴：大卒
- ④職歴：20年以上
- ⑤経歴：大学卒業後は、店舗の内装設計に携わり、現職では、建築工事全般に携わる。

### 所属企業の会社概要

- ・会社名……………有限会社  
ゼムケンサービス
- ・事業概要……………特定建設業、  
一級建築士事務所
- ・所在地……………福岡県
- ・従業員数……………9人  
(うち女性8人)



### 入職した理由、前職の経験等

昔から建築物の間取りを見ることが好きだったため、大学も設計に関する学科に入学しました。就職活動時も設計に関する仕事を探しており、流通業を中心に扱う設計施工会社に就職。九州地方を中心に販売店舗の内装設計や現場の監理をしていました。前職においても働き続けたいという思いはありましたが、結婚を機に退職しました。その後、子どもが小学校に進学した際に「もう一度設計の仕事に就きたい」と考え、転職を決意しました。ハローワークで現在の会社の求人を見つけ、社長が女性というのが珍しく興味を持ったため応募し、入社しました。

### 自身の現在の仕事内容、やりがい

設計だけでなく建築物の着工から完工までの現場監理に必要なすべての業務に携わっています。以前勤めていた設計会社との大きな違いは、設計業務だけでなく幅広い業務に携わらなければならないことです。また、現職に入職するまでの間にIT技術等の進歩により、働き方が大きく変化していることにも驚きました。そのため、今まで経験してこなかったこともあり、苦勞する点もありますが、職人や同僚等の周囲の方々と積極的にコミュニケーションを図りながら業務を行っています。

この仕事のやりがいは、多くの人と協力することで建築物が完成していくことです。周囲の方々との情報共有を大切にしながら今後も業務に励んでいきたいです。

## これまでのキャリアパス



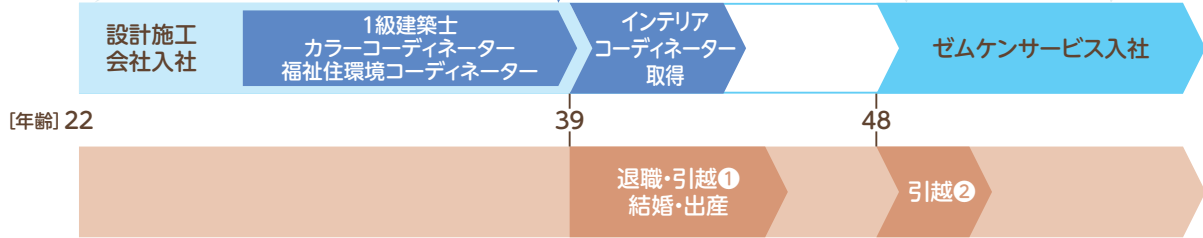
### WORK

学生時代も同様に男性が多い環境であったが、社会に出るとそれまでは意識していなかった男女差を感じる場面があった。

周囲が資格取得に励む姿に刺激を受け、様々な資格を取得。

手作業で図面を書くことは前職の経験により得意だと感じていたが、IT技術の進歩により、PC上で図面を書かなければならず苦労した。

社員がオールラウンダーになることを会社全体で目指しており、設計以外の業務を覚えることもチャレンジしながら楽しんでやっている。



### PRIVATE

#### ◎設計施工会社を退職

結婚後も、仕事を辞めずに続けたいという気持ちを持っていた。夫が離れた地域にあり、同居するため転勤の希望を伝えるも希望が通らず、退職せざるを得なかった。

#### ◎育児と仕事の両立（現場場での協力体制）

プライベートも仕事の1つ、プライベートの体験を仕事に生かすと言う方針のもと、学校行事は積極的に参加しているし、介護の会議等にも出席するようにしている。とは言え限られた時間の中で業務を遂行するため、苦労することもある。皆の協力と工夫で乗り越えている。

#### ◎育児と仕事の両立（家庭での協力体制）

親と同居しているので子供が小学生の時はお世話をお願いしていた。帰宅時間が少々遅くなくても安心して仕事に取り組むことができていた。

## Q&A

### Q 建設現場の女性就業者について

A 前職から建設現場で働いて女性が少ないと思っていたが、現職に入社してからより少ないと感じる。今後、建設業界で働く女性を増やすためには、環境整備が必要だと考える。

### Q 会社の取組み

A ワークシェアリングという取組みを行っており、社員全員が自社が担当している各現場の情報を共有している。そのため、家庭の事情による急な早退にも別の人が対応できるようにしている。

### Q 活用した自治体の取組み

A 特に利用していない。今は実家にいるため学童保育等を利用せず母が面倒を見てくれた。

### Q 働くうえで困ったこと

A 今までの職場経験において結婚や出産育児を経ても活躍する女性のロールモデルがなかった。そういった存在がいと参考になるし励みになると感じた。

### Q 前職の設計施工会社と現場との違い

A 社員のほとんどが女性であること。女性のロールモデルが身近にいるととても励みになる。

### Q 今後の目標について

A 自身が携わっている建築の現場管理業務において、女性でもできるのだと言うところに共感して頂き、建設業で働く女性をどんどん増やしていきたい。

## Message!



### 建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

私が建設業界に入職したのは、男女雇用機会均等法が施行された年でした。現在は、さらに多様性を尊重する社会へと変わってきています。男性社会と言われる建設業界においても私たち女性が声をあげることで、女性の活躍の場も広がっていくと思います。一緒に建設業界を盛り上げていきましょう！

CASE  
**06**

# 「地元で現場監督になりたい！」

結婚や出産を経ても現場で活躍！



**POINT**

- 入社直後に資格取得に励み、活躍の場が広がる。
- 女性役員や女性管理職に相談しながら育児と仕事を両立。

**萩原  
忍氏**

桂建設株式会社  
技術者（土木）



## PROFILE



**自身のプロフィール概要**

- ①職種：技術者（土木）
- ②出身地：茨城県
- ③学歴：専門学校卒
- ④職歴：10年以上
- ⑤経歴：専門学校卒業後、現職

**所属企業の会社概要**

- ・会社名……桂建設株式会社
- ・事業概要……舗装工事、土木一式・建築一式等
- ・所在地……茨城県牛久市
- ・従業員数……26人  
(うち女性7人)



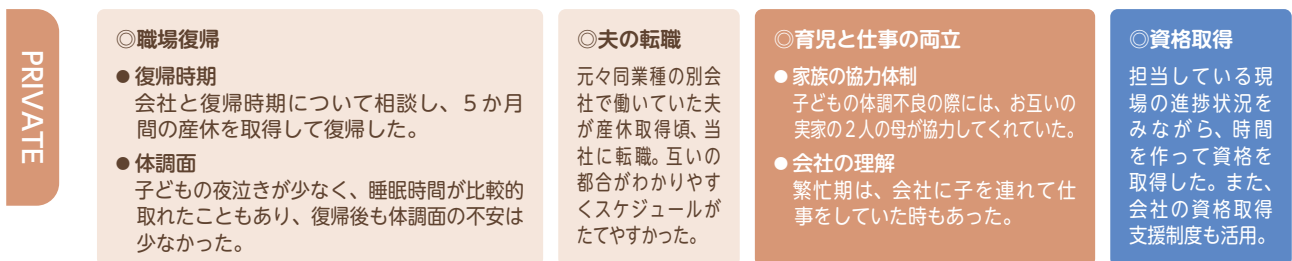
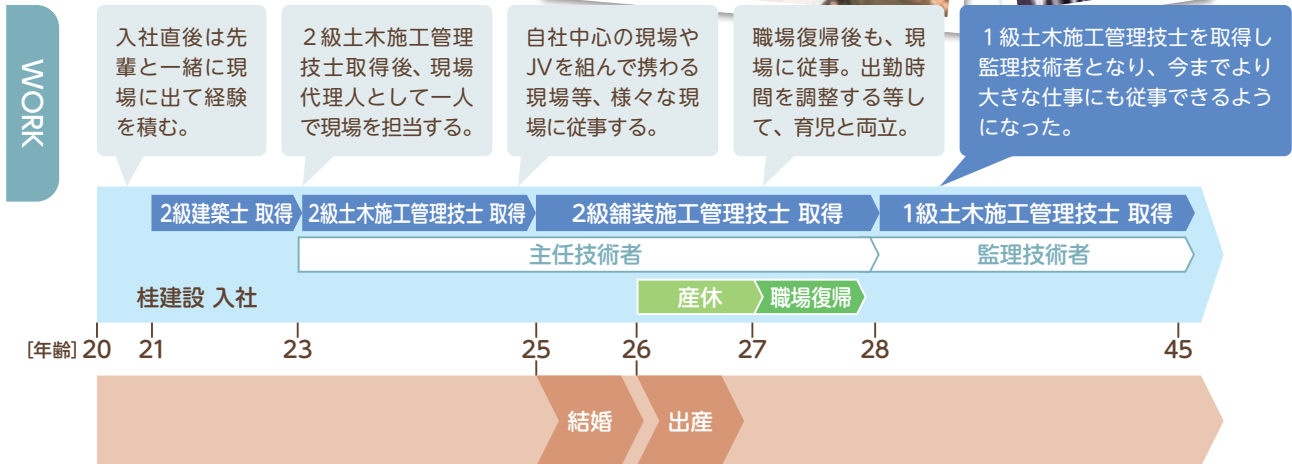
**入職した理由、経緯**

テレビ番組の影響で幼い頃から設計に関心を持ち、高校卒業後は設計を学べる専門学校に進学しました。専門学校で建築について学ぶうちに、自分の性格に合うのは現場職だと感じるようになりました。また、学んだことを活かして地元で働きたいという思いもあったことから、就職活動時は建築の現場監督を希望していましたが、女性の現場監督の求人はほとんどありませんでした。そんな時、当社のみが女性の現場監督の求人を出しており、面接を経て入職しました。入社を機にこれまで学んでいた建築ではなく、土木に携わることになりましたが、「自分は現場に向いている」という思いは入社から現在まで変わらず、結婚や出産を経た現在も現場に出て働いています。

**自身の現在の仕事内容、やりがい**

当社では、茨城県牛久市を拠点に、創業当初は舗装工事を主に施工しておりました。現在は、様々な工事の実績を積み、土木一式・建築一式等幅広い工事を手がけております。そのなかで、私は公共土木工事の現場所長として働いています。入社直後に資格取得に取り組んだことで活躍の場が広がり、これまで橋梁下部工事や耐震補強工事、中学校の外構工事等の様々な現場に携わってきました。規模の大きな現場や長期間携わる現場は思い入れも強く、とても印象に残っています。この業界の魅力は作ったものが残ることだと思います。作るものや施工方法も現場によって異なるため、これまで培った経験や知識をどのように応用していけばよいか考えなければなりません。竣工検査等で必ず作ったものが評価されるため、その都度改善点を洗い出すことができ、次の現場でこれまでの経験を活かせることもやりがいの一つです。

## これまでのキャリアパス



## Q&A

### Q 自社における採用活動

**A** 以前より、「女性だから採用しない」という考えは当社にはなく、男女関係なくやる気のある人材を採用している。作業員や技術者、営業職、事務職など様々な職種において女性の採用をこれまで行ってきた。

### Q 現場の環境整備

**A** 県が発注している公共工事などの現場では、週休二日制や快適トイレの設置等がされており、現場の環境整備が徐々に進んでいると感じる。

### Q 会社の取組み

**A** 働き方改革を推進し、社員の残業時間の削減に努めている。また、現場のICTの活用も積極的に推進していく方針である。環境整備等を含め、できることから積極的に今後も取組みを進めていく。

### Q 職場の育児等に対する理解

**A** 女性の管理職もいるため相談しやすく、育児との両立について理解を得やすいと感じる。時差出勤についても相談しながら利用することができ助かった。

### Q 活用した自治体の取組み

**A** 土曜日に受け入れ可能な保育所や児童クラブがあったため、活用していた。

### Q 今後の目標

**A** ICTの進歩により、測量や3D工事等、日々働き方が変化していると感じており、私自身も技術の進歩に対応していきたい。会社側も設備投資をする等して業界の変化に対応し、社員が様々なことにチャレンジできるよう応援してくれている。

## Message!



### 今後建設業に女性等が就業継続していくために必要だと思うこと

「カッコいい」魅力が詰まった土木業界を中高生等の若い方に発信できる場があればよいと思います。また、出産や育児では初めての経験も多く「そもそもどうしたらよいか分からない」という漠然とした不安を抱えている場合があると思うので気軽に相談できる窓口があると良いと思います。

CASE  
07

# 「今後、女性の活躍の場はさらに広がっていくはず」

社内の職場環境も年々変化！柔軟な働き方で育児と両立



POINT

- 充実した社内の相談体制を活用し、職場復帰後の不安軽減へ。
- 在宅勤務やフレックスタイム制を活用しながら、育児と両立。

## 針川 優子氏

株式会社マサル  
技術者（防水）



## PROFILE



自身のプロフィール概要

- ①職種：技術者（防水）
- ②出身地：栃木県
- ③学歴：大卒
- ④職歴：10年以上
- ⑤経歴：大学卒業後、現職

所属企業の会社概要

- ・会社名……株式会社マサル
- ・事業概要……リニューアル、修繕・改修工事
- ・所在地……東京都江東区
- ・従業員数……126人（うち女性26人）



### 入職した理由、社内の取組み

親戚が設計事務所を営んでいる姿を見て、設計士に憧れていました。そのため、大学は建築や設計を学べる学部に進学し、卒業後も設計に携わりたいという思いもありましたが、在学中に設計職は狭き門だと痛感しました。それでも建築の仕事に関わりたいという気持ちは変わらなかったため、現在の会社に入社しました。

当社では、毎年1～2人ほど女性社員が入社しています。また、女性社員の割合は社内全体の2割程度で、その中には技能職の者もおります。私が入社してから、出産を機に退職する女性社員はおらず、職場復帰に向けた取組みも年々進んでいると感じます。最近では、在宅勤務やフレックスタイム制なども導入され、ワークライフバランス実現に向けた環境整備も進んできています。これからは男性社員も育児休暇を取得する雰囲気になって行けば、いいなと思っています。

### 自身の現在の仕事内容、やりがい

入社直後は、リニューアル事業部に配属され、現在は、新築・改修現場の現場管理を担当しています。時には困難な問題に直面することもありますが、それを乗り越えたときや現場で頼られたときにやりがいを感じます。この業界は、男性が多い業界ですが、男女差を感じたことはあまりありません。今後も切磋琢磨し、まずは現場管理者として自立していきたいと思っております。また、実務とは離れますが、建築仕上学会の女性ネットワークの会の活動で同じ業界で働く女性たちとディスカッション等をして情報共有も行っており、私も参加しました。周囲に女性が多くないため、このような出会いはとても貴重だと感じます。



## これまでのキャリアパス



WORK

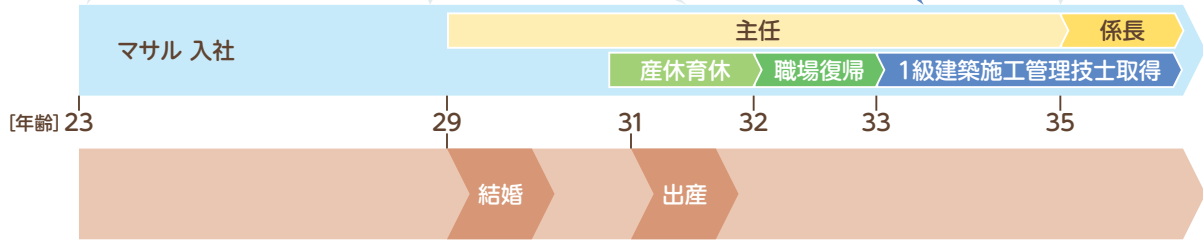
建築に関わりたいという思いで入社。入社後はリニューアル事業部に配属。

マンションや事務所のリニューアル工事(特に、防水関連)に現場管理者として従事。

復帰後も、引き続き現場管理に従事。

○ 1級建築施工管理技士取得  
社内の昇格条件であったため、何度も挑戦。受験費用については会社の支援があった。

社内の昇格条件を満たし、係長に昇格。在宅勤務やフレックスタイム制を活用しながら、育児と両立して役職者の役割に従事。



PRIVATE

◎職場復帰  
職場復帰のタイミングや役割分担について夫と話し合い、調整してから復帰した。

◎保活  
居住する自治体が管轄する保育園については、自身の状況に応じて子どもの入園の優先順位が変動する。そのため、自治体窓口や先輩ママに相談し情報収集する等、計画的に保活に取り組んだ。その結果、利便性の高い保育園に預けられた。

◎学童  
子どもが小学校に入学するに当たり、学童保育について情報収集をしている。学童保育も自治体や民間等、様々な運営形態があるため精査したい。

◎育児と仕事の両立

- 保育園の送り迎えを分担し、夫は朝の送り出し、自身は迎えを担当。場面に応じて対応している。
- 家族のサポート  
急な体調不良の際、夫の両親が子どもの面倒をみてくれた。

## Q&A

### Q 職場復帰後の苦労

A 現在はそのようなことはないが、産後復帰した当時は、共働きという概念があまり浸透していないこともあり、子育てをしながら働き続けることについて、周囲の理解を得ることが難しい時期もあった。

### Q 会社の相談体制

A 産業カウンセラーの資格を持つ社員や先輩ママに相談することができ、職場復帰に向けた精神的な安心材料となった。

### Q その他、会社の制度

A 在宅勤務やフレックス制も導入されている。自身の都合に合わせて業務時間をコントロールでき、大変助かっている。子育てをするようになってからは保育園のお迎え等で残業が困難なため、その分、少し早起きをして朝に仕事をすることもある。

### Q 職場復帰における会社の環境

A 当社では、社員の声をもとに臨機応変に対応がなされ、保育園の送り迎えのために時差出勤を認めてくれたり、時短勤務ができる期間が延長されたりと、私が出産を経験した5~6年前と比較しても、さらに職場復帰しやすくなっている。

### Q 夫との育児分担

A 朝の保育園への送り出しだけでなく、掃除や料理等も積極的に担当してくれる。資格取得の際も一時的に子どもの面倒をみてくれたため、勉強する時間も捻出でき、試験に合格することもできた。

### Q 自治体の取組み

A 私自身は家族のサポートがあるため、まだ利用したことはないが、ファミリーサポートのような様々な取組みがある。

## Message!



### 建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

建設業では女性が年々増えていると実感しています。それでも男性が多い職場であることに変わりはありませんが、今後は男性にとっても働きやすい環境整備を進めて行くことで女性の活躍の場もさらに広がっていくと思います。様々なことに挑戦していきましょう!

CASE

08

# 「周囲のサポートがあってこそ育児と仕事の両立ができる」

職場は子育て世代の社員が多く、育児との両立を助け合う社内風土

Check!

POINT

- 高校卒業後に入社。入社から現在まで設計業務に従事。
- 職場や家族、保育園との連携を図り仕事と子育てを両立。

## 甲斐理沙氏

日鉄テックスエンジニアリング株式会社（大分支店）  
事務職（溶接／設計）



## PROFILE

### 自身のプロフィール概要

- ① 職種：事務職（設計）
- ② 出身地：大分県
- ③ 学歴：高卒
- ④ 職歴：10年以上
- ⑤ 経歴：高校卒業後、現職

### 所属企業の会社概要

- ・ 会社名……日鉄テックスエンジニアリング株式会社
- ・ 事業概要……総合エンジニアリング事業（機械・電計・システム・土木・建築の複合）、メンテナンス事業、プラント操業事業、製造・販売事業
- ・ 所在地……東京都千代田区
- ・ 従業員数……12,112人（うち女性620人）



### 入社した理由や経緯、入社直後について

車の整備士をしている親の姿を見て、「工業を学びたい」と思い、情報システム科のある高校に進学しました。授業で建築や電気工事等の入り口を学び、部活動では工業部に所属しアーク溶接と出会いました。高校3年間でものづくりの楽しさを知り、就職活動時には、「ものづくりに関わる仕事をしたい」と先生に相談したところ当社を紹介され入社しました。入社当時は、30人程いる同期のなかで女性は私一人でした。配属先にも同期や同世代の女性がおらず、最初は心細さも感じましたが、徐々に職場に馴染むことができ、今では相談相手も見つけることができました。

### 自身の現在の仕事内容、やりがい

入社以来、設計業務に携わっています。現在は、主に階段やデッキの設計において、CAD を利用した計画図面の作成や3D モデルの作成を担当しています。図面を描いてから物が完成するまでに時間が空いてしまうため、完成直後は自分が携わったという実感がわかない時も正直ありますが、自分が設計した物が使われている様子を目にしたとき、自分が携わったものだと思え、やりがいを感じます。学生時代、設計の授業は苦手でしたが、授業で学んだことは現在の仕事にとっても役立っています。今も学生時代に関心があった溶接に携わりたい気持ちもありますが、家庭との両立を図りながらもやりがいを感じながら働くことができる現在の業務に引き続き励んでいきたいです。

## これまでのキャリアパス

WORK

入社直後は、同期全員で研修参加。運転免許を取得し、車で通勤。

研修後、設計部門に配属。同期は別々の部署に配属。入社から現在まで、設計に携わる。

上司の計らいにより担当業務を軽減してもらった。周囲に子育て世代が多く、突発的な早退にも理解があり心強かった。保健士面談が精神的なストレス軽減につながった。

部署内の社員と出産時期が重なったため、互いにフォローし合いながら業務を行った。第二子出産後はすでに職場復帰の経験があったため安心して働けた。

日鉄テックスエンジ入社

産休のみ取得 → 職場復帰① → 産休・育休取得 → 職場復帰②

入社してから設計部門に従事

[年齢] 18

23

25

30

結婚

第一子  
出産

第二子  
出産

PRIVATE

### ◎第一子出産

保育園を探す際は、自治体には相談しなかった。すぐに仕事復帰したかったため、それが叶う保育園に入園の希望を出した。一度は満員のため入園を断られたが、運よく1枠空いたため入園することができた。

### ◎第二子出産

第一子と同じ保育園に事前に相談したところ、枠を用意してくれたため、スムーズに入園できた。保育園によっては、入園の際に準備をするものも違うため、二人とも同じ保育園に入園することができてよかった。

### ◎育児と仕事の両立

- 夫と相談し、夫の家事担当割合を増やし、自身は育児をメインに分担した。共働きの場合、夫婦で協力しないと難しいと感じる。
- 近隣で働く姉が、保育園のお迎え等を手伝ってくれており大変助かっている。

## Q&A

### Q 入社時の不安

A 入社当初は運転免許を取得したばかりだったため、車通勤するのが不安だった。

### Q 自社における育児休暇等の取組み

A 社内の育児休暇制度等の仕組みは、ある程度出来上がってきている。復帰時に保健士面談があり、言いにくいことは面談で相談できるため、相談体制についてはとても充実していると感じる。

### Q 自社における現場の環境整備

A 自社として、現場のお手洗いの設置等といった環境整備に取り組んでいる。今後も引き続き、会社としてより良い環境となるよう改善に努めていく方針。

### Q 産休取得時に取り組んだこと

A 自分のためだけでなく、今後、自分以外の社員が産前・産後休暇や育児休暇等を取得する際にサポートできるように会社の規定を見返した。その他、必要な書類等も確認した。

### Q 周囲の理解

A 職場には子育て世代が多く、家庭の事情を理解し合える雰囲気のため、互いにフォローし合う環境ができている。

### Q 活用した自治体の取組み

A 月に一度、自治体による子育てに関する取組みを紹介してもらえる機会があり母親同士の集まりの場の提供等、様々なサポートがあるということは知っていたが、うまく活用しきれなかった。今思うともっと活用すればよかったと思う。

## Message!



### 建設業への入職を考えられている方が継続して働くために

社内の福利厚生が充実しており、周囲からの理解も得られやすいため、とても環境に恵まれていると感じます。周囲のサポートがないと子育てと仕事との両立は厳しく、就業を継続するためには、相談体制や職場との連携がとりやすい環境に身を置くことが大切だと思います。

CASE  
09

# 「地元で植物と関われる仕事がしたい」 夫が育児休暇を取得！夫や職場のサポートで就業継続

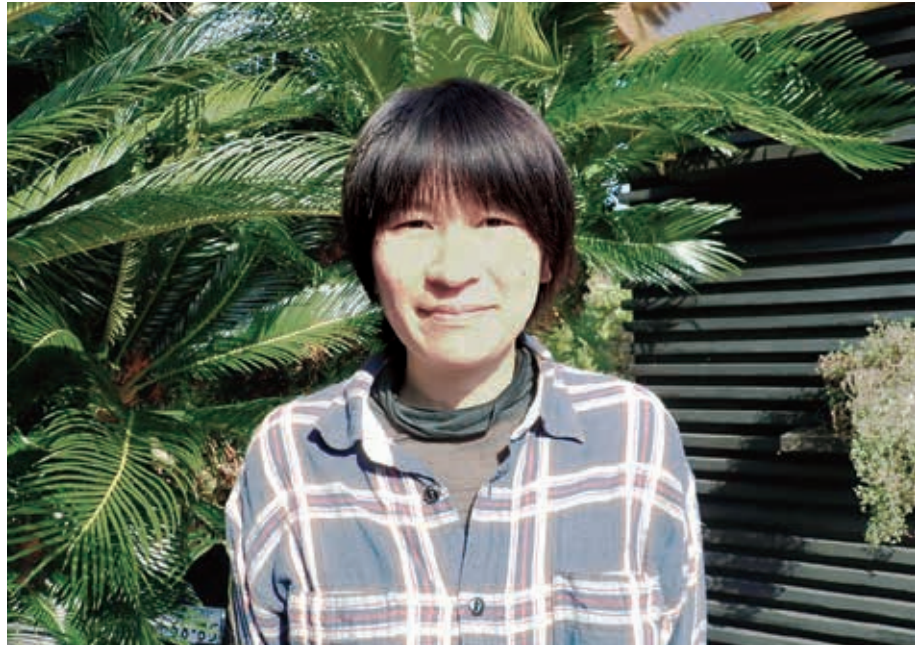


POINT

- 事務職として採用後、繁忙期には現場に出ることも。
- 産休・育休取得後、職場復帰するのは社内で初。会社との連携も図る。

## 杉澤 悠紀子氏

株式会社多々良造園  
事務職兼技術者（造園）



## PROFILE



### 自身のプロフィール概要

- ①職種：現在の業務：事務職 兼 技術者
- ②出身地：山口県
- ③学歴：大卒
- ④職歴：8年
- ⑤経歴：大学卒業後は、物流業に就職。その後、市役所臨時職員を経験後、現職

### 所属企業の会社概要

- ・会社名……………株式会社多々良造園
- ・事業概要………造園工事設計・施工管理
- ・所在地……………山口県山口市
- ・従業員数………34人  
(うち女性9人)



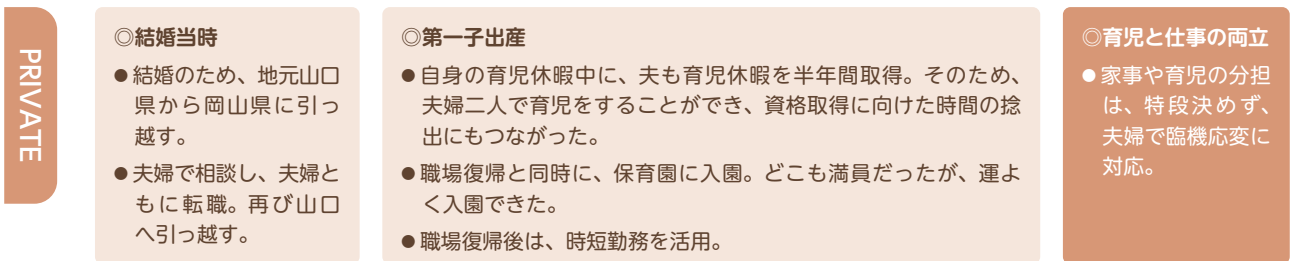
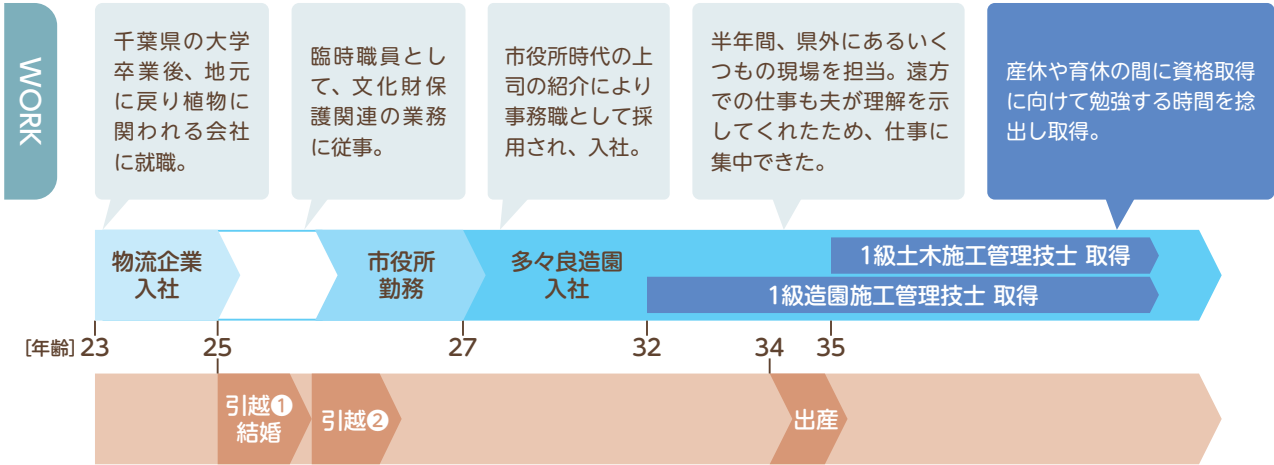
### 入職した理由、前職の経験等

千葉県の大学卒業後は、地元に戻り植物に関われる仕事がしたいと思い、山口県内にある森林公園の維持管理を行う物流企業に就職しました。その後、結婚を機に同社を退職し、岡山県に引っ越しましたが、「地元に戻りたい」という思いが強くなり、夫と相談し再び山口県内に戻りました。その際、夫は山口県外への転勤がない会社に転職し、私は山口県内の市役所で臨時職員として土器の修復等に携わりました。そして、臨時職員の任期満了を迎える際、市役所時代の上司に現在の会社を紹介してもらいました。植物に関われる仕事であり、社長夫妻が同じ大学のOB・OGというご縁もあって入社しました。

### 自身の現在の仕事内容、やりがい

元々は事務職として採用されましたが、繁忙期に現場に出て働くようになりました。主に維持管理業務に携わりましたが、県外にある複数の工事現場を担当することもありました。妊娠・出産後は主に事務職として働いており、見積もりや提案資料の作成、総務全般の仕事、工事書類の作成等を行っていますが、調査や現地確認、短時間で終わる現場の立ち合い等で現場に行くこともあります。お客さんの要望を形にするためプランニングすることがとても楽しく、お客さんに自分が携わった現場を気に入ってもらえた時にやりがいを感じます。現在は事務がメインですが、現場がうまく回っている様子を見ると事務職として現場を支えられていると実感でき嬉しくなります。

## これまでのキャリアパス



## Q&A

### Q 夫の育児について

**A** 夫も育休を半年間取得し、早い段階から育児を経験できた。そのため、私が仕事で不在の時のワンオペ育児にも積極的。産後間もない時に男性も育休を取得し、育児を経験できるとその後の育児への抵抗感が少なくなると感じる。

### Q 産休取得時に苦労したこと

**A** 自分しか把握していない仕事の引継ぎ。実際に携わらないと分からないこともあるため、産休中も連絡を取れるようにしていた。

### Q 活用した自治体の取組み

**A** 自治体が運営する保育園を活用。職場復帰前に、窓口で、保育所の空き状況について確認・相談。7箇所の子育て支援センターに見学も行った。

### Q 現場の環境整備

**A** 大きい現場であれば、男女別トイレ等の環境整備がある程度されているが、小さい現場だと設置場所も限られており、なかなか難しい。

### Q 今後の会社の取組み

**A** 自分が社内で初めて産休・育休を取得して仕事復帰をした事例であるため、今後の取組みについては社長等と相談しながら検討している状態。男性社員も育休が取得できるようになれば良いと考えている。

### Q 活用した会社の制度や取組み

**A** 時短勤務と病児保育の費用補助を活用。時短勤務は、社長と相談して柔軟に対応できている。病児保育の費用補助についても、費用面での負担が軽減され大変助かっている。

## Message!

### 建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

仕事を始めた当初は、分からないことだらけで、先輩方についていくので精一杯でした。様々な現場や仕事を体験して少しずつ理解できると、面白さややりがいが出てきます。たとえ失敗したとしても、先輩や上司がフォローしてくれるので、恐れずに飛び込んでみてください。



# 建設産業における女性の就業継続にむけた キャリアパス・ロールモデル集

／ 令和4年3月 第2版 ／

本事例集は、令和2年1月16日に国土交通省と業界団体等が共同で策定した「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画 ～働きつづけられる建設産業を目指して～ Plan for Diverse Construction Industry where no one is left behind」を受けて制作したものです。